

青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和4年度 第205号12月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

先月に引き続き、こまゆみ祭で義民太鼓に参加した子どもたちが書いた【学んだこと、成長できたと思うこと、そして宮入さんをはじめとする保存会の皆さまへのお礼】をお伝えします。



★今年度もご指導ありがとうございました。今回も裏方として参加させていただきました。舞台監督も任せ自分がやれるかどうか不安でしたが、皆が協力してくれた事もあり今年度も義民太鼓を成功させる事が出来たと思います。また、指導側にも回り教えるという事の難しさを知りました。当日までに仕上がるかどうかすごくハラハラしました(笑)。本当に皆頑張ってくれたと思います。

私が成長出来たと思う事は、皆との連携です。太鼓を通して前よりも絆が深まったと思いました。今回の太鼓で学んだ事も生かして、今後の生活を送っていければなと思っています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。(3年女子)

★私は久しぶりに太鼓を打ちましたが、最初は太鼓を打つ時のリズムや打ち方が上手く出来なくて不安でした。何回か練習を重ねていくうちにだんだんとコツをつかんでいき手にマメが出来るようになりました。練習をしていくにつれバチの先までしっかり伸ばすようになり、足の角度などを意識して打てるようになりました。腹筋太鼓の時、初めは数回しか出来なかったのが、本番では余裕で打ってバチもしっかり先まで伸ばす事が出来たので達成感がありました。ですが、何回も練習していたら尾てい骨の辺りの皮がむけてしまい思うように打てない時もありました。それだけ練習したんだと思いました。本番当日は、全く緊張する事なく楽しむ事を意識して無事最後までやり抜く事が出来たのでうれしかったです。宮入さんをはじめ保存会の皆様には毎週指導してくださり思い出に残る発表が出来たととてもいい経験でした。ありがとうございました。(3年女子)

★まず初めにこの義民太鼓を教えてくださいました事を心から感謝しています。僕は最初の7月の練習で去年の3年生たちの太鼓を見て本当に自分にこんな事が出来るかどうかとても不安でしたが、練習の当日になってみるとその不安が消えていました。なぜなら宮入会長をはじめ多くの方のご指導を受けて義民



太鼓に対する熱意や感情が音から伝わって自分にも出来るかどうかではなく自分もやりたい、やらせてもらいたいと感じるようになり自然と練習を一回一回がんばろうと思うようになりました。そしてこまゆみ祭を迎えた当日の朝は自信に満ちあふれて、本番はあまり緊張はなく迎えられました。最後の連打は体に義民の心が染みついていたような感じでした。僕はこの体験を通して義民の精神の何かをつかめたような気がしました。（3年男子）



★義民太鼓保存会の皆様、先日のこまゆみ祭の義民太鼓の発表のためにお時間を割いていただき本当にありがとうございました。私は義民太鼓を通していろんな事を学び成長出来たと感じます。小学校の時何年も太鼓をやっていたのですぐ感覚を戻す事が出来ました。そして細かいところの指導や注意のお陰でさらに上達し自信を持って打てるようになりました。本番では練習の時と違って本当に「義民」になったように気持ちが変わりました。義民太鼓を通して「義民の心」について考え、感じる事が出来

とても楽しかったです。そう感じられたのもお忙しい中、私たちをご指導して下さった皆様のお陰です。ありがとうございました。寒さに向かう季節ですが風邪など召されませんようご自愛ください。（3年女子）

★拝啓 清々しい秋の気配が感じられる季節になりました。さて、7月から約3ヶ月間の義民太鼓練習では、厳しくも温かくご指導をいただきありがとうございました。何から何まで初めてでしたが、丁寧に教えていただいたお陰でいい思い出になりました。今回の体験をして、ただ太鼓を打つのではなく自分たちが義民になる事が大切だと思いました。私は手を伸ばす時の高さや姿勢、強弱を意識して打つ事が出来ました。教えていただいた一つ一つを大事にして今後に生かしたいと思います。宮入さんをはじめとする保存会の皆様におかれましては健康に気をつけられ、ますますご活躍されることをお祈りします。ありがとうございました。 敬具 （3年女子）



★この度は私たちに義民太鼓を教えていただき誠にありがとうございました。初めのうちは、なかなかメロディーを覚えられずとても焦っていました。しかし保存会の皆様が丁寧に優しく指導して下さったお陰で上手に打てるようになりました。だんだんと成長していく自分を見る事が出来ました。私は苦しくて疲れても諦めずやる事の大切さを学びました。義民の気持ちを考えながら打っていると、さみしさや苦しさを感じる事が出来ました。自分も打っている側でしたが皆がだんだんと上手になっていくのが分かりました。義民太鼓を見て下さった方にかっこいいと思われるような発表が出来たと思います。初めはとても不安でしたが義民太鼓をやった本当に良かったと思います。ご体調を崩されませぬようどうぞお大事になさってください。またお会い出来る日を楽しみにしています。（3年女子）

★今回はお忙しい中指導してくださりありがとうございました。始めはリズムや構え方などがすぐに慣れなく私に出来るのかと思っていましたが、練習するにつれ慣れていきすばらしい発表にすることが出来ました。宮入さんや保存会の皆さんが一人ひとり丁寧に教えてくださったお陰でいい発表が出来たと思っています。まず最初は太鼓の打ち方だけでしたが、どんどんストーリーになっていく感じがワクワクして練習に行くのがとても楽しみになりました。この義民太鼓で学んだ事や成長した事を生かしてこれからの生活につなげていきたいです。宮入さんや保存会の方が100%の発表と言ってくれてとても嬉しい気持ちになりました。ありがとうございました。（3年女子）



★私は小学4年生の時に初めて運動会で義民太鼓をやりました。それが本当に楽しくて中学の文化祭でもやりたいと思っていました。そのため今年義民太鼓に参加出来てとても嬉しかったです。練習する中で手の皮が剥けたりお尻が痛くなったり腹筋に力が入らなくなったりしましたが、それらを含めて楽しくてとても良い思い出になりました。私は義民太鼓をやる中、皆で息を合わせる事の難しさと楽しさを学びました。先生方、質問をした時にいつも丁寧に教えてくださりありがとうございました。先生方のお陰で本番は最高の演奏が出来たと思います。やはり何よりも私は義民太鼓が本当に良かったです。ありがとうございました。（3年女子）

★お忙しい中練習をしてくださりありがとうございました。私はこの義民太鼓で仲間と協力して一つの演奏を作り上げていく事や義民の心や魂について学ぶ事が出来ました。普段青木村に住んでいても知らなかったのですが、今回の義



民太鼓に参加する事を通して義民にはこんな意味があってこんな出来事があったと知る事が出来ました。太鼓を打つのは小学校以来だったのでなかなかリズムを覚えられなかったりうまく打てなかったりしたのですが、やさしく丁寧に教えてくださったお陰で、リズムをすぐ覚える事が出来、しっかりとみんなで合わせる事が出来ました。自分は一つの事を続けて努力したり本気になって取り組んだりする事が苦手でした。しかし練習をする中で少しずつ太鼓の楽しさや面白さに気づく事が出来て本気で練習に取り組む事が出来ました。この義民太鼓という貴重な経験を大切にこれからの学校生活や普段の生活で生かしていきたいと思っています。（3年男子）

★毎週の練習から今まで丁寧に指導いただきありがとうございました。練習では太鼓の打ち方の基本を始め、義民の心、一つ一つの動作について心構えなどたくさんの事を知れて良かったです。義民太鼓は先輩方がやっていたので聞いたり見ることはありましたが、実際にやってみてどんな気持ちで打っていたのかを知る事が出来、一番良い経験となりました。また練習の中でマメが出来ても頑張っている姿を見て「自分が苦しいなら全員苦しいしそれでも皆が頑張っているから自分も頑張ろう」という考え方が出来て、それは私にとってとても大きな成長だと思っています。宮入さんをはじめ保存会の皆様には

7月からたくさんのご指導をいただきその中でたくさんの考え方や友人への見方が変わったのは義民太鼓を体験出来たからです。義民太鼓を通してたくさんの事を体験出来て良かったです。7月から長い間たくさんの事を教えてくださりありがとうございました。（3年女子）

★最初入った時は何もかもわからなかったけど保存会の方々が丁寧に教えてくださったお陰で本番かっよく太鼓を打つ事が出来ました。太鼓だけでなく義民の心も教えていただきました。本番はとても緊張してドキドキしていたけど宮入さんの「緊張しながら楽しみ」という言葉を思い出し楽しみながら思いっきり太鼓を打つ事が出来ました。本番思いっきり自信を持って打つ事が出来たのは宮入さんをはじめとする保存会の皆さんが丁寧に教えてくださったお陰だと思えます。本当にこの3か月間ありがとうございました。（3年男子）



★最初に宮入さんをはじめとする保存会の皆様のお陰でこまゆみ祭の義民太鼓が大成功した事を感謝いたします。7月の第一回の練習の時点では経験者がいない中で練習についていけるのかという不安や自分の役目を全う出来るのかなどの不安がありました。しかし練習を重ねるにつれて自分が太鼓を通して義民になっている事を実感し、太鼓に情を乗せながら打つ事が出来ました。本番の前に義民の方たちに手を合わせて力を貸していただいてから、本番の皆の動きが明らかに違う事も打っていて感じていました。前の打ち手の声量や苦しい場面での演技、すべてが違っていました。僕はこの義民太鼓を通して義民について興味も湧き青木村がもっと好きになりました。保存会の皆様本当にお世話になりました。（3年男子）

★私は義民太鼓を通して仲間と協力する大切さを学びました。太鼓は息をそろえて打たないとバラバラに聞こえてしまいます。そのため周りの音を聞いて息をそろえるときれいに聞こえます。協力する事でより良いものになると思いました。そして私は自分の精神が成長出来たと思えます。太鼓をやっていると辛いとか痛いというマイナスな気持ちが生まれて来ます。でもそれを楽しんでパフォーマンスをすればなんて事も無いと思えて来ます。それに一揆をしていた昔のご先祖様の事を想像してみると辛かったり苦しかったりしたと思えます。そういう事を想像して行いました。このような貴重な体験をさせてくださったのは宮入さんをはじめとする保存会の皆様のお陰です。本番が終わった後もうこれで終わってしまったのかと名残惜しい気持ちになりました。太鼓を文化祭でやった事はこれからも忘れないと思えます。最後にどうすれば上手く打てるか、入るタイミングなど丁寧に教えてくださって本当にありがとうございました。（3年女子）



★義民太鼓を通して私は仲間と協力する事の大切さや全員が主役だという意識、役に入り込む事の難しさを学ぶ事が出来ました。そして青木中の伝統を受け継ぐ事が出来本当に嬉しかったです。多くの事を

学べた事や伝統を受け継いだ事、これは宮入さんをはじめとする保存会の皆様の熱いご指導のお陰です。ありがとうございました。ご指導を受けた中で一番心に残っているのは、やはり「全員が主役」という言葉でした。この言葉もあり私は本番まで気を引き締めて「自分も主役なんだ」という意識を持って打ち込む事が出来ました。この貴重な経験を大切にしながら今後生きていきたいと思います。本番まで本当にありがとうございました。（3年女子）



★7月から練習がスタートして今日の本番までに多くの事を学びました。まず最初に学んだのはバチに「魂」を込めるという事です。はじめはよく分からなかったのですが、「魂」を込めるにはまず義民を学ばないといけないと言われ調べようと思いました。次に学んだ事は息を合わせるという事

でした。今まで太鼓は男の6人ががんばるというふうに見ていたのですが、今回初めてやってみて全員ががんばらないと良い義民にならないとわかりました。最後に初めて義民太鼓をやって練習時に厳しい事を言われてもそれ以上に優しく接して教えてくれたので練習が楽しかったです。そのお陰で本番に全力を出して義民太鼓をやる事が出来ました。感謝しています。（3年男子）

★義民太鼓保存会の皆様、今回はこまゆみ祭まで私たちに指導してくださりありがとうございました。私は口上で太鼓を打ちはしませんでした。宮入さんの「口上もみんな義民」という言葉を聞いて「私も義民の一人なんだ」と思い練習に対する気持ちも変わり、それ以降より練習に励めるようになりました。口上は普段と違うイントネーションもあり、よく同じところを間違え指摘されていました。正しい発音になるまですごく時間がかかってしまいましたが、間違える度に丁寧に教えてくださった口上の先生、本当にありがとうございました。本番の日、先生はいらっしゃいませんでしたがイントネーションも音の伸ばし方も今までの練習の成果を全て出しきれたと思います。最後の演奏で最高のパフォーマンスが出来たのは今まで教えてくださった皆様のお陰です。私も義民の気持ちになり相手に“伝える”という事を意識して語れました。この義民太鼓の練習を通して“決して諦めず最後までやり抜く”精神を学べたと思います。今までありがとうございました。（3年女子）



★まずはこうやって保存会の方々と交流出来て良かったなと思いました。この義民太鼓を通して青木村の文化に触れつつ太鼓を打って良かったなと思いました。そして義民太鼓をやりながら青木村の歴史についても知れて良かったです。皆でたくさん練習して辛い事、苦しい事もあったと思うけど、最後に無事皆で、文化祭で発表出来て良かったなと思いました。保存会の皆様、こうやって僕たちに丁寧に指導してくださり本当にありがとうございました。青木村の文化についても触れられて練習から本番まで楽しく出来ました。本当にありがとうございました。（3年男子）

